

のほべつ

主な内容

- 第3回定例市議会 低迷する市内経済に“活” 市道舗装・排水整備に1億円の補正……………2 P
- 国民健康保険 高額療養費自己負担額引き上げ……………2 P
- 秋の行政相談週間 悩みや苦情は、まず相談……………3 P
- みんなが平等に暮らせる社会へ 「障害者に関する長期行動計画」を策定……………4・5 P

● No. 357 ● 昭和57年10月1日発行 ● 発行/北海道登別市 ● 編集/総務部企画広報課 ● 印刷/北海印刷



集まったりり87,501個 盛況“市民空き缶フェア”

リサイクルの輪を広げようと9月18日・19日の2日間にわたり、“市民空き缶フェア”が市内3会場で行なわれました。

アルミ缶20個かスチール缶50個で学用品、家庭用品に交換するという道内でも初めてのユニークな催しは、リサイクル運動を進め、空き缶の散乱を防ぐとともに「資源やエネルギー」を大切にしようと、登別市生活学校や登別消費者協会など8団体が参加して実施されました。

メイン会場となった労働福祉センターでは、午前10時の開始と同時に年寄りや主婦の皆さんが車や自転車などに空き缶を積んで次々と訪れ、見るまに空き缶の山が築かれていきました。なんと、2日間で各会場合わせて8万7千個余りの空き缶が集まり、予想以上の成果に関係者も大喜び、今後も継続して開催していくことを誓い合っていました。

10.1 '82

第3回 市議会 定例会

低迷する市内経済に「活」 市道舗装排水整備に一億円の補正

昭和五十七年度の第三回定例会市議 会は、九月十六日から二十四日まで、の会期九日間が開かれ、一般会計補正予算、亀田記念公園特別会計補正予算、教育委員会委員の任命などが承認または可決されました。

つきに議会の主な内容をお知らせします。

一般会計予算の総額は 百四十億三千二百七十九万円に

主な議案のうち昭和五十六年度 一般会計決算と各特別会計決算の 認定は、決算審査特別委員会を設



今年度、富士町で行なわれた排水路整備工事。

置して、閉会中の継続審議とする ことになりました。

昭和五十七年度一般会計補正予 算は、補正額二億九百五十七万八 千円を追加するもので歳入歳出予 算の総額はそれぞれ百四十億三千 二百七十九万円となりました。

補正予算の主なものは、次のと おりです。 ◎市道舗装排水整備費、一億円： 今年度の最重点である軒下の環境 整備を進めるため、市道舗装、排 水整備に当初六億円の予算を計上 し、現在市内各地で工事を進めて います。

これら基礎の整備を一層進め、 併せて市内経済の回復への波及効 果も期待するため、臨時市町村道 整備事業充当債を利用 して追加工事をす るものです。

◎警別都市下水道整 備事業費・八千六百 九十六万円：都市 下水道の新設に伴っ て不用地となった新 生町一丁目の国鉄用 地を買収するもので す。

面積は四千四百三 十九平方メートルが、 細長い地形のため公 共施設の設置は無理 ですので、地域住民 の住宅地として整備 し、売却していく 考えです。

老人と若人の 交流に助成

交流に助成

◎身体障害者施設見学研修経費、 十万円：身体障害者の皆さんに各地 の先進施設などを見学研修してい ただくものです。去る九月二十七 日、身障者福祉協会登別支部の協 力を得て、大勢の皆さんが空知支 庁管内栗沢町にある北海道立福祉 村(身障者更生支援施設)の現状 をつぶさに勉強してきました。

◎老人と若人交流事業助成金、十 万円：北海道老人クラブ連合会 が主催して行うもので、老人と若 少年・婦人が一堂に会し、話し合 い、レクリエーションなどを通じ て世代間の交流による相互理解を 深め、心の通い合う地域づくりを 図ろうとするものです。

今年、十月二十四日、石狩支 庁管内町村の老人、青年、婦人百 二十名と市内の老人、青年、婦人 百十名が、老人福祉センターで意 見発表や事例発表、レクリエーシ ョンなどで交流を深めることにな っています。

◎臨時生活福祉灯油給付経費・二 百四十万円：今年度も約六百世 帯の老人・身障・母子など生活困 窮世帯へ一世帯当り四千円を支給 します。

◎臨時生活福祉灯油給付経費・二 百四十万円：今年度も約六百世 帯の老人・身障・母子など生活困 窮世帯へ一世帯当り四千円を支給 します。

亀田記念公園―十月一 日から市で管理運営

昭和五十七年度亀田記念公園特

別会計は、補正額九百六十六万五 千円を追加し、歳入歳出予算の総 額はそれぞれ一億七千四百二十九 千円となりました。

国民健康保険

高額療養費 自己負担額引き上げ

つたため、十月から来年三月まで の所要経費を補正したものです。 このなかで、公園の将来にわた る基本計画を今年度中につくるた め、一般会計予算から二百五十万 円を繰り入れられています。

老人憩の家 三十六カ所に

老人憩の家は、地域の集会所や冠 婚葬祭、老人のかたがたの憩の場

重い病気の人や長い入院生活の 人など、毎月の医療費の自己負担 が増えることと思われ、負担が 住民税が非課税になっている世帯 については、三万九千円にすえ置 かれます。

今回の引き上げは、二段階引き 上げのため昭和五十八年一月から は五万二千円に引き上げられます。

自己負担額

計算の基準

自己負担分一月四万五千円と いう計算は、次のような基準によ ります。

●暦月ごとに計算

月の一日から月末までの受診に ついては、ある月の十五日から翌 月の十五日までのように、月をま たがって入院した場合、最初の 月の医療費の自己負担金の額が三 万円、翌月が三万円、合計一カ月 六万円を自己負担した場合でも、 一日から月末までの計算ですから 高額療養費は支給されません。た だし同一月内にいったん退院して またそこへ再入院したような場合 は、合わせて計算されます。

●病院・診療所ごとに計算

たとえば、甲の病院と乙の病院 へ同時にかかっている、自己負担 分として、甲の病院七万円、乙 の病院六万円を支払った場合は 甲の病院の分については四万五千 円控除した二万五千円、乙の病院 については同様に、一万五千円の 高額療養費が支給されます。

●歯科は別

病院または診療所に内科などの 科と歯科がある場合は、内科など の科と歯科は、別の病院または診 療所として扱います。

●総合病院

総合病院の各診療科は、それぞ れ別の病院または診療所として扱 います。ただし、総合病院の入院患者が 他の科の診療を受けたときは、合 算して計算されます。(そのとき でも歯科は別)

登別市教育委員会委員、吉原 氏は、昭和五十七年九月三十日 任期満了になりましたが、再度教 育委員として任命することに同意 されました。

として利用いただいています。 今年度新たに大和町二丁目二十 七番地「和幸園」と、札内町四百 九十四番地「東札内集会所」が加 えられ、市内の老人憩の家は三十 六カ所になりました。

有権者は4万人台に

—選挙管理委員会—

毎年9月1日現在で、登別市に3カ月以上居住している方を「永久選挙人名簿」に登録しています。昭和57年で新たに登録された有権者は796名となり、有権者総数も初めて4万人台となりました。

なお、9月1日号でお知らせしましたが、今回から投票区を分別し、23投票区から26投票区としましたのでご注意ください。各投票区別の有権者数は下表のとおりです。

投票所別有権者数

投票区	投票所施設名	投票区域	名簿登録内訳		
			男	女	総数
第1	中央公民館	中央町1-7丁目全域	1,053	1,111	2,164
第2	観音生活館	観音町1-8丁目全域	1,143	1,228	2,371
第3	登別大谷高等学校	旭水町1-6丁目全域	1,541	1,375	2,936
		緑町1-4丁目全域 若山町1-2丁目全域 青葉町全域 大和町1丁目全域 川上町第19投票区以外の区域			
第4	富士保育所	新田町1-4丁目全域	826	863	1,689
第5	富士幼稚園	富士町1-7丁目全域	1,426	1,564	2,990
第6	労働福祉センター	千歳町1-6丁目全域 千歳町(丁目を除く)全域	399	419	818
		新栄町1番地-30番地 幸町1-2-4丁目全域 幸町3丁目1番地1-9番地3 末馬町374番地 幸町3丁目10番地1-6丁目34番地			
第7	母の家	新栄町31番地以後 高瀬町1-5丁目全域	303	315	618
第8	登別公民館	登別本町1-3丁目全域	1,002	1,106	2,108
		登別東町1-2丁目全域 登別西町1-2丁目全域			
第9	自働の家	中登別町21番地-25番地 中登別町42番地-58番地	253	269	522
		中登別町74番地以後 (218-220番地を除く)			
第10	登別温泉公民館	登別温泉町全域 上登別町全域	669	883	1,552
第11	カールス婦人協会の家	中登別町218番地-220番地 カールス町全域	34	36	70
第12	札内小学校	幸馬町374番地以外の区域 札内町全域	91	83	174
第13	登別市民研修センター	高瀬町(丁目を除く)全域	12	7	19
		鉾山町全域			
第14	富厚小学校	新生町2-4-6丁目全域 高厚町1-3丁目全域	701	726	1,427
		富厚町(丁目を除く)全域 若山町3-4丁目全域 大和町2丁目全域 上登別町198-105番地			
第15	富厚児童館	栄町2丁目14番地1以後 栄町3-4丁目全域	531	545	1,076
第16	登別中学校	登別町3-4丁目全域 登別町6丁目1番地1-34番地20	1,356	1,367	2,723
第17	ひまわり園	美濃町1-4丁目全域 美濃町5丁目1番地1-8番地9	1,238	1,273	2,511
第18	登別文化幼稚園	登別町1-2丁目全域	658	683	1,341
第19	観音西小学校	片倉町1-6丁目全域 川上町265番地-277番地1 川上町304番地1-304番地20	675	699	1,374
第20	登別児童館	宮城町1-6丁目全域	901	979	1,880
第21	登別小学校	登別町5丁目全域	649	647	1,296
		登別町6丁目35番地1以後 栄町1丁目全域 栄町2丁目1番地1-13番地6			
第22	若草小学校	若草町1-3-5-6丁目全域	983	1,032	2,015
第23	登別市婦人センター	登別東町3-5丁目全域	798	947	1,745
		中登別町12番地-20番地 中登別町26番地-41番地 中登別町59番地-73番地 旭水町1-5丁目全域			
第24	こぶしの家	新生町1-3-5丁目全域	675	720	1,395
第25	若草幼稚園	若草町2-4丁目全域	1,142	1,227	2,369
		上登別町96番地-97番地 上登別町106番地-116番地 美濃町5丁目9番地1-6丁目全域 上登別町117番地			
第26	美濃児童センター	上登別町123番地1-215番地2	675	619	1,294
合 計			19,774	20,723	40,497

秋の行政相談週間

10月17日～23日

悩みや苦情は、まず相談

皆さんの苦情や要望を行政に反映

みなさんの中には、ふだん役所や公社、公団などが行っている仕事について、苦情や要望、意見をお持ちの方もおられるでしょう。

早く直してもらいたい、「年金がもらえなくなつてしまったんだけど何かの誤りではないだろうか」、「近くの工場の騒音がすごい。公害対策はどうなっているのだろうか」

このような住民の皆さんの苦情や要望のひとつひとつに耳を傾けて問題の解決に努力し、行政の改善に役立てていこうというのが「行政相談」です。

- 説明に納得できない。
- 処理がまちがっている。
- どうすればよいか分からない。
- 処理がおそい。
- 不親切な扱いを受けた。

具体的な例としては、「交通信号機やガードレールがこわれたままになっているので、



だけ住民の皆さんの声を行政に反映して、住み良い社会づくりを進めようと、昭和三十年に「行政相談」が始まりました。

以後、相談件数も年々増加し、とくに最近では、道路・生活保護・交通安全・公害など、日常生活と関係が深い問題についての相談が多くなっています。

このような日常生活に密着した「行政相談」をさらに多くの方に役立ててもらおうと、春と秋の年

無料調定相談

裁判所では、毎年十月一日の「法の日」にちなみ、同日から一週間「法の日週間」と定め、法の尊

重、基本的人権の擁護、社会秩序の確立の精神を高めるための行事を全国各地で行なっています。札幌地方裁判所室蘭支部では、この期間の行事として無料調定相談を行ないます。

土地・建物・金銭の貸借、売買・交通事故などによる損害賠償、夫婦・親子間の紛争、相続など日常生活にからむいろいろなものごと

10月1日は「法の日」です

法まもる

心が築く

よい社会



でお困りの方は、この無料調定相談をご利用ください。札幌地方裁判所室蘭支部の調定委員五名が相談をお受けします。相談ご希望の方は直接会場へお越しください。

▽日時 10月7日(木) 午前10時から午後3時まで
▽会場 労働福祉センター1サークル室(千歳町3丁目1-3)

みんなが平等に暮らせる社会へ

「障害者に関する長期行動計画」を策定



障害者を締め出す社会は 正常な社会ではありません

昨年の国際障害者年に引き続き、市では九月二十日今年を初年度とする十カ年（五十七年度～六十六年度）の「障害者に関する長期行動計画」を策定しました。同計画は、障害者にとって社会的に不利な条件を見直し、障害をもつことによって不利益を受けることのない社会づくりを目指すもので、市の総合基本構想および基本計画をもとに、今後十カ年の基本的な考えや施策を明らかにしました。具体的な事業については、各年度の予算に反映し、実施していくことになっています。

策定にあたっては、北海道身体障害者福祉協会登別支部、登別市手をつなぐ親の会、登別市肢体不自由児父母の会の三団体と協議を重ね、当市の特色をふまえて策定しました。

計画の実施にあたっては、国や道、近隣市町村をはじめ関係団体、企業、さらに市民の皆さんの理解と協力がなくてはならないものとなっています。

今号では、同計画の概要をお知らせするとともに、各障害者団体のかたから同計画への意見、感想をお聞きしました。

私たちのだれもが障害者の立場になる可能性を持っていることから、障害をもつことによって人間の尊厳がそこなわれたり、権利を阻害されることなく、障害者と健全者がともに生活できる社会でなくては、正常な社会とは言えません。

こうした計画の基本的な考えかたから、障害者自身が自立できる社会環境を築くとともに、市民の温かい心が通い合うまちづくりを進めなくてはなりません。

以下六項目からなる施策の基本的方向と主要施策の主な内容をお知らせします。

正しい 障害者観の確立

今日、障害者問題に関する社会の認識は深まっていますが、まだ、差別や偏見がなくなつたとは言えず、正しい障害者観の確立が重要です。

このため、学校教育や社

家庭教育などを通じて障害者に対する理解を深めるとともに、温かく思いやりをもつ市民性の育成を図ります。

また、障害者が積極的に社会参加し、社会に貢献していくことが障害者への理解を深める大きな力となることから、社会進出への機会拡大に努めます。

◎主要施策 ▽身体障害者スポーツ大会の開催（三市スポーツ大会の継続的な開催と、各種大会への積極的な参加を推進する。）
▽手話研修の実施（市職員およびボランテニア会員を対象とした手話研修を継続的に実施する。）

生活環境の 整備促進

社会を障害者や老人などにとって利用しやすくすることは、社会全体にとっても利益となるものです。

公共施設の改善整備をはじめ、銀行やデパートなどの改善促進も積極的に要請していきます。

◎主要施策 ▽公共施設の整備促進（道路や公営住宅などの整備を進めるとともに、鉄南地区に福祉センターの建設を推進する。）
▽公園、レクリエーション施設などを整備（主にレクリエーション施設の整備促進に努める。）

雇用、就業 の拡大

障害者が固定した職業に従事し生活の安定を維持するためには、民間事業所の積極的な理解と協力が必要です。

このため、障害者の就業に関する相談窓口を設けるとともに、障害者が自力で就職の機会を作り出す意欲を養うため、職業訓練協会の協力を得て、事業内訓練制度の活用について取り組みます。

また、商工会議所をはじめ、地元商工業者の団体に対し、障害者



障害者自身が積極的な参加を

北海道身体障害者福祉協会
登別支部長 加藤平作さん
今回の長期行動計画ができたことで、大変心強く思っています。後は、この計画が活字のら例に終わることのないよう「生きた物」とするため、行政ともども努力していきたいです。

皆さんに障害者に対する理解を深めていただくという点では、三市のスポーツ大会を当市でも開催するなど、障害者自身が積極的に社会に参加することが大切です。雇用問題では、障害者に適した技術を身につけるためにも職業訓練施設が身近にできることを期待しています。



皆さんの温かい理解と協力を

登別市手をつなく親の会
会長 菊地秀男さん
特殊学級を卒業した後、雇用してくれる事業所が大変少ないのが現実です。また、いったん仕事についても雇用されるかはもちろん、職場の皆さんの温かい理解と協力がなければ長続きしないという傾向があります。こうした子どもたちの特技を生かした仕事ができるように、会では小規模授産施設の建設を目指しています。また、教育の面では言語障害、情緒障害児のための特殊学級の開設を希望しています。



計画を高く評価 着実な前進を

登別市肢体不自由児父母の会
会長 高山重信さん
計画の策定にあたって、私たち当事者の意見を反映してくれただけで、同計画を高く評価しています。私たちが全て行政に頼る気持ではなく、親の責任を充実果たし、なお及ばない部分について行政に期待するわけで、同計画が着実に進められることを望んでいます。具体的には、理学療法の訓練が受けられる併設養護学校ができればと思いますが、市単独では難しい問題ですので、将来に向けての課題とし、さしあたっては肢体不自由児学級の開設に取り組んでもらいたいと思います。

また、市では、重度心身障害児介護手当をはじめ身体障害者自動車燃料費の助成、社会福祉入所者児に対する面会旅費の助成、家庭派遣などを実施し、福祉の向上に努めてきましたが、多様化する福祉要望にこたえるため、各種福祉援助の充実を図ります。

施策の基本

- 一、正しい障害者観の確立
- 二、生活環境の整備促進
- 三、雇用・就業の拡大
- 四、保険医療の確保
- 五、福祉援護の充実
- 六、教育の充実と振興

保険医療の確保

に適した職種の開発と作業場の整備を要請し、公的な各種援護制度の利用拡大を図ります。

◎主要施策 △雇用促進対策（障害者を常用労働者として雇用する事業主に対し、障害者雇用促進奨励金制度を設け、長期雇用の確保に努める。また、障害者を雇用している優良事業所を顕彰し、企業への関心を高める。）

先天的心身障害児の発生を未然に防止するためには、妊産婦、乳

福祉援護の充実

児に関する健康相談などを通じて、その発生予防・早期発見対策を母子健康相談として積極的に実施していますが、さらに予防と相談指導の充実強化を進めます。

◎主要施策 △難病の相談、指導体制の充実（難病者に対する医療費の助成範囲の拡大、相談、指導体制の充実を図る。道および関係機関に働きかける。）

△精神障害者に対する援護充実（国道などの療育訓練施設の整備促進を関係機関に働きかける。）

教育の充実と振興

する面会旅費の助成、家庭派遣などを実施し、福祉の向上に努めてきましたが、多様化する福祉要望にこたえるため、各種福祉援助の充実を図ります。

◎主要施策 △援護体制の充実（助成制度を設けて職親会の充実を図るとともに、重度障害者福祉タクシー事業の充実を図る。）

△福祉施設の充実（心身障害者の機能訓練、母親の生活指導の施設として「のぞみ園」を改築し、あわせて言語訓練施設の開設を図るとともに、治療、訓練施設取得などの更生援護施設の建設を関係機関に働きかける。）

△幼稚園の障害児教育に対し助成を図る。）

△義務教育（養護学校分校の移転新築については、昭和六十年年度開校実現を促進するとともに、言語治療教室および情緒障害特殊学級の設置に努める。）

△社会教育（障害者が各種学級講座や学習会などに参加できるように条件整備を計画的に進めるとともに、障害者（児）との交流を促進し、正しく理解するよう努める。）

気軽に相談を

身体障害者 精神薄弱者 相談員

身体障害者、精神薄弱者の福祉向上を目指して、市内では五人のかたが相談員として北海道から委嘱されています。相談員は、自らも障害をもっていたり保護者のかたで親身になって皆さんの相談に応じています。

主な仕事は、身体障害者手帳を持っている人や、手帳をまだ持っていない体の不自由な人から更生医療や義手、義足など補装具に関する相談や精神薄弱者の家庭における養育、生活などに関する相談に応じ、指導、助言を行なっています。

また、市では市役所福祉事務所に福祉相談員を配置し、身体障害者に関する相談をお受けしています。

- （身体障害者相談員）
- ▽幌別地区担当 山口三太郎さん（中央町7-6-5 Ⅱ⑤③）
 - ▽858市福祉相談員 川勝男さん（栄町2-9-2 Ⅱ⑥5066）

- ▽登別・富浦地区担当 戸辺徳行さん（富浦町1-45-3 Ⅱ③1637）
- ▽登別温泉地区担当 小館忠治郎さん（登別温泉町1Ⅱ④2727）

- （精神薄弱者相談員）
- ▽市内全域 菊地秀男さん（登別東町4-43-8 Ⅱ③2346）



みんなで作るページです

登別との出会い

本年5月道東のK市から登別市に転入して来ました。当地には小学校の修学旅行以来で、何かと期待をもってまいりました。

登別市：温泉街：観光地：人がいっぱい：にぎやかというイメージを持って当地に足を踏み入れてちよつととまどいました。どこにもそれらしい雰囲気がありません。うわついた派手さはなく、生活を感ぜさせる地味な印象を与えられました。

その後5カ月任んでみて感じた事を思いつくまま列記しますと①海産物(カニ・エビなど)が安く新鮮でおいしい②図書館の蔵書(開架)で新刊書が多く利用し易い③天候が良くない④小公園が少ない(子供達の遊び場)⑤違法路上駐車が多い⑥下水道・排水溝等の整備が遅れている。

今後さらに、さまざまな良さを発見して、当地での生活を楽しまたいと思っております。

もう一つの人生

(桜木町・公務員・33歳)
酒を飲むと、陽気になる人、よく話すようになる人など様々な面が現われてくる。私は、この様な人に会うのがとても楽しみである。

元来、酒は善段の自分を抑制しているのを押さえてしまい、殺をやぶってひよこが野化するがごとく、本当の自分が顔を出すのである。

私の友人に「酒がのめる人間は幸せである。それは、善段の人生と全く違った酔ったときの人生、この二つの人生を同時に歩める」とよく言う人がいる。多少酒飲みの自己弁護めいたところもあるが酔ったときの人生、それは誰も知らない自分だけの世界であり、同種の人間が集まる所となれば、話題は果てしなく続き、飛躍的な理論がとびかい、いつしか自分自身が全能の神の様に思えることがある。またそんな世界を求めて、今夜も酒を飲んでしまおう。

(常盤町・公務員・28歳)



思い出のカップ

私が大切にしているものの中にコーヒーカップがあります。

学生の頃、目的もなくデパートの中をふらついている時にフォトについてたコーヒーカップがそれだ。値段は三百円ぐらいだったと思いますが、デザインが私のお気に入りだったので。

とてもプロとは思えないカップ

お待ちしています
「ふれあい広場」では、みなさまからの投稿を掲載していきます。ホットな話題や意見、提言をどしどしお寄せください。掲載分には記念品をさしあげます。
▽宛先 ハガキまたは封書で登別市役所企画広報課へ。(〒059-003 登別市中央町6丁目1番地) ※紙上では匿名としますが、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記してください。



郷土史探訪

72 来馬町

「頼婆」から「来馬」へ

来馬岳の山開きによせて

登別市にはカムイヌプリ・オロフレ・日和山・フンペン山・ボントコ山・ボンズ山などと市民に親しまれている山が多くあります。その中で天然の大樹林やチシマ笹、クマイ笹などが深く、簡単に人間を寄せつけなかった山に「来馬岳」があります。千層余の高さと、広大で深い山麓は峻険できびしい山ですが、明治以来の開拓者にとっては温い抱き力をもった母なる山として親しまれてきました。

来馬岳の「ライバ」は、アイヌ語の「ライバ」にあたり来馬岳は古くから「ライバヌプリ」と呼ばれていましたが、ライバの語源は「古川の川口」の意味であること



明治4年頃、「胆振国幌別郡全図」

安政元年(一八五四年)、江戸幕府の命を受けて蝦夷実地検査御用に参加した市川十郎・榊原桂蔵の「野作東部日記」に「幌別川の水源は、幌別山にて頼婆(らいば)に近接する」と書かれ、来馬山が「頼婆山」の文字で紹介されています。

また、北海道の名づけ親である松浦武四郎の「東蝦夷日誌」には「ライバ、比の川ライバの後に至る故名づくる也」とあり、ライバ川がライバ山の源流であることから命名されたことを語っています。

明治になると片倉家の支配地となった幌別郡が、開拓使に領地支配報告のために作成したと思われる「胆振国幌別

郡全図」のなかで来馬山が神岳(カムイヌプリ)の右手に書かれており、この時に「頼婆山」から「来馬山」に変わったものと思われる。

来馬岳を地学的にみると、カルルス温泉付近の低地形を囲むカルルス火山の外輪としての役割を呈しています。

すなわち、来馬岳は一〇四〇呎の高さをもち、山頂北方に爆裂火口の地系と、その峻険な傾斜をなしてそびえています。来馬岳溶岩は札内台地のボントクセ溶岩(ボントク山)と同様に洪積世最下部にあり、またクッタラ火山噴出物の最下部にあるランボーゲ浮石層中に礫(れき)として認められている古い火山なので。

来馬岳の峻険は、西北に一〇三五呎のソリアンベツ(滝、そこに「来馬」)上流の山岳やシヨウカアンナイ(滝、そこにある谷川)上流にある一〇七九呎の山など一〇〇呎級の壁が連なり、海拔九〇〇呎のオロフレ峠へと続いています。さらに、岩質が硬いため侵蝕に耐え残った一三〇呎のオロフレ岳、八九七呎の加車山、ボン加車山などの峻険が続き、カルルスの橋湖(バシヤントー)の湖面には、その雄姿を美しくうつしだしたことでしよう。

登山道路の設置により来馬岳の素肌の面があらわれ、貴重な植物の生態や動物の生息もつかい知れることでしようが、自然の豊庫である来馬岳とそれに連なる来馬岳連峰の自然が観察される楽しみとともに、自然がいつまでも保たれて市民の眼を楽しませてもらいたいものです。

登別市郷土文化研究会
宮武 伸一 記

花開け登別の文化

市民文化祭
作品募集

市民文化祭実行委員会では、「文化の日」の11月3日を中心に市内の幅広い文化活動の成果を展示し、発表します。

市民文化祭は、市民の交流を深め、文化活動の向上を図ることを目的として行なわれ、今年で18回目を迎えました。

今年も市民の皆さんの展示作品

を募集しますので、応募してください。

- ▽展示期間 10月19日(火)～21日(木)
- ▽申込先・期限 社会教育課(☎⑤2111内線349)へ10月14日(木)まで申し込みください。

幼児水泳教室

参加者を募集

教育委員会では、幼児を対象に次のとおり水泳教室を開催します。

- ▽期間 10月26日～11月13日まで
- の毎週火・木・土曜日(午後4時～5時)

▽場所 登別市民プール(千歳町3丁目1番地・☎⑤5588)

▽募集人員 昭和51年4月1日から52年3月31日までの間に生まれた市内の幼児：30名

▽経費 680円(スポーツ傷害保険料)

▽申込方法 所定の申込用紙に必要事項を記入、押印のうえ、10月22日(金)までに市民プールへ申し込みください。(申込用紙は

参加しませんか

来馬岳登山



登青連では、10月10日(日)の「体育の日」にちなんで来馬岳登山会を企画しました。

市民プールにあります。

定員をこえた場合は、10月23日(土)午後2時から市民プールで公開抽選を行います。

※参加者は、水着、ブルキャップ、バスタオルをご用意ください。

ご参加ください

レクリエーション講習会

市レクリエーション協会では、

山頂でのレクリエーションを行いますので多数ご参加ください。

▽日時 10月10日(日) 午前9時30分までオロフレ荘(カルルス町)に集合。

▽対象 市内に住む勤労青少年

▽参加料 500円(会員無料)

▽携行品 昼食、雨具、軍手、水筒、帽子など。

▽申込先・期限 青少年婦人係(☎⑤2111内線350)へ10月8日(金)まで申し込みください。

※当日、雨天の場合は中止となります。

▽ボーイ隊員：小学5年生から中学3年生までの男子

入隊希望のかたは、10月17日次の場所の説明会を行います。

▽警別公民館/午前10時～11時30分 来馬集会所/午後1時～3時

※詳しいことは休場春雄(☎⑤6455)にご連絡ください。

教師の応募は

10月15日まで

日本工学院北海道専門学校では来年度に向けて電子工学科および情報工学科の教師各一名を募集しています。ご希望のかたは、お早めに申し込みください。

応募方法は、広報九月十五日号でお知らせしましたが、詳しくは次のところへお問い合わせください。

▽応募連絡先 〒059103 登別市札内町④3 日本工学院北海道専門学校 教務課(丸岡) ☎⑧0888

技能検定が

実施されます

昭和五十七年度の後期技能検定が、次のとおり実施されます。

▽受検申請書の受付 10月8日～20日まで。

▽実技試験 12月4日～2月28日まで。

▽学科試験 2月13日、20日、27日のいずれか。

※職種、受検資格、受検手続きなどについては、胆振支庁商工労働課内胆振地方技能訓練協会(☎室蘭222局9131内線293)へお問い合わせください。

窓から④



戸籍謄(抄)本

などの申請は

戸籍には、出生・婚姻など身分に関する記載があります。戸籍謄(抄)本や身分証明書が必要になったときは、次のことに注意して申請してください。

▽本籍地について

戸籍は、本籍地の市町村に保管されています。戸籍謄本(全部の写し)、戸籍抄本(一部の写し)は戸籍の写しですので、本籍地が他の市町村にある場合は、登別市では戸籍謄(抄)本はとれません。身分証明書も同様です。

▽戸籍謄(抄)本の申請

登別市に本籍地のあるかたは、市役所市民課で申請してください。なお、お急ぎでないかたは支所でも受け付けることができますが、交付するまで三、四日の日数を要します。

他の市町村へ郵送で申請すると

きは、戸籍謄(抄)本の手数料(一通二百円)と返信用の封筒、切手を同封し、本籍地・筆頭者(抄本は必要なかたの名前・通数を明記のうえ申請してください。戸籍は大切なものですので、本人、家族または法律で認められている者(司法書士など)以外のかたが申請するときは、必ず使用目的を記入してください。

▽除籍謄(抄)本の申請
除籍謄(抄)本の手数料は一通三百円かかります。申請できるかたは、本人、家族または法律で認められている者などに限られますのでご注意ください。

ボーイスカウト 隊員募集

日本ボーイスカウト登別第一団では、新入団員を募集します。

ボーイスカウトは、野外活動を通して青少年の健全育成を目的とする団体です。募集隊、入隊資格は、次のとおりです。ご応募ください。

▽カプ隊員：小学2年生から4年生までの男子

赤い羽根 共同募金運動

10月1日から

共同募金会登別市支会

共同募金は、身寄りのない人、寝たきりのお年寄り、手足の不自由な人たちが少しでも幸せになるよう、みんなで協力して明るい住みよい社会をつくるための募金運動です。

今年も運動を次のとおり展開しますので、みなさんのご理解と心からの協力をお願いします。

〈目標額・五〇七万円〉
募金額は応分で結構ですが全道的には一世帯五百円を目ざしています。

〈使途計画〉
▽道内の民間福祉施設の整備
▽在宅老人のための入浴・給食・福祉電話サービス・福祉団体の事業・青少年の健全育成・住民福祉活動事業などに：四〇七万円

▽市社会福祉協議会で実施の
▽市社会福祉協議会が実施の
▽一〇〇万円

▽今年には特に来春オーブン予定の市内最初の民間福祉施設
▽特別養護老人ホーム(寝たきり老人の収容施設)に、将来への開放を要請し、目標超過額を配布する予定です。

市民憲章

ふれあう心の合言葉

一、未来をつくる青少年の、健全な夢の育つまちをつくりましょう。

国有林に入られるかたへ

秋になると山奥にいたヒグマが冬眠前のエサを求めて、人里近くに出没します。
このことからキノコ取りなどで国有林に入られるときは、ヒグマによる不測の事故がないよう次のことを守ってください。

- 営林署、事業所に立ち寄り、入林者名簿に記入し、ヒグマについての情報を聞く。
- 入林するときは、できるだけ二人以上で行く。
- 昼食後の残飯などは、必ず持ち帰って山に残さないようにする。



室蘭営林署から

商店などで使用されているレジスターから打ち出されるレシートに、印紙税が課せられていることをご存じですか。
一部には印紙税が課されないものと誤解されている向きもありますが、レシートは、印紙税法で「売上代金に係る金銭又は有価証券の受取書」に該当しますから、印紙税を納付する必要があります。
その印紙税額は、受取金額が三万円未満のものまたは、営業に關しないものは非課税となりますが受取金額が百万円以下のときは二百円、二百万円以下のときは四百円というように、その受取金額に応じて異なります。
このような印紙税のかかる文書に印紙をはらなかつた場合とか、

ご存じですか
レシートにかかる印紙税

はっていても不足している場合には、納付していない印紙税額の3倍に相当する金額の過怠税を追徴されることとなりますのでご注意ください。
※印紙税についてのお問い合わせは室蘭税務署(但室蘭22-14151)へ。
▽選考日 新規高卒以上の者/57年12月15日 新規中卒者/58年2月16日 一戦者/58年2月15日以降随時
※入校について不明な点は、同校(但0144-7419957)へご連絡ください。

母親学級



＜母親学級日程＞

コース	月日	担当	内容
1	11月10日	産婦人科医	○妊娠中の生理と分娩経過 ○妊娠中の保健(映画)
	11月12日	小児科医	○新生児の生理 ○乳児の発達 ○育児の考え方 ○妊娠中の栄養 ○食事のとり方
3	11月17日	歯科医	○妊娠中の歯の衛生 ○歯に関する知識
	11月19日	助産婦	○赤ちゃんのお風呂の入れ方 ○産後の生活と家族計画
5	11月24日	保健婦	○妊婦体操 ○分娩の準備 ○産後の準備

母親となられるかたのために、妊娠中の生理や分娩の経過、産後の生活など、内容を五回にわけて講話、実習を行います。
妊娠にともなう不安の解消や出産にむけての心構え、品物の準備にお役立てください。
定員は五十人で、五日間(二コース)受講できる妊婦に限りま。

不用品ダイヤル市



5局 2111
内線 257

おわけします(売り)

長椅子(3人掛)、食卓テーブル、ベビーカー、ベビースタ、カセットプレーヤー、ステレオ、カラオケセット、小型冷蔵庫、男子用自転車(20インチ)、温風石油ストーブ、スパイクタイヤ(ホイール付)、オートバイ(90cc)、あみ機、ミシン、み直線用ミシン、一般用百科事典、電動タイプライター、リヤカー、電気健康マット、マットレス、マンドラ

ゆずってください(買い)

ダブルベット、学習用机、折たたみうば車、幼児用女子自転車、電気オルガン、一輪車、太糸用あみ機、室内用スリ台、小中学生用百科事典

訓練生を募集

道立苫小牧高等職業訓練校
▽訓練科目 自動車整備科、電気

▽応募資格 どなたでも応募出来ます。ただし自動車整備科、電気機器科を希望する場合は、高等学校卒業程度の能力を有する30歳以下のかたを原則。
▽応募手続 願書の用紙は当校または職業安定所にあります。
▽選考日 新規高卒以上の者/57年12月15日 新規中卒者/58年2月16日 一戦者/58年2月15日以降随時
※入校について不明な点は、同校(但0144-7419957)へご連絡ください。

秋の大型ゴミを回収します

10月12日から

日	曜日	回収地区
12	火	若山町1丁目、2丁目、桜木町、緑町、青葉町
13	水	富士町
14	木	美園町
15	金	登別本町、東町、港町
18	月	登別町(国道より海側)
19	火	片倉町、新川町
20	水	中央町
21	木	若山町3丁目、4丁目、富岸町、栄町、大和町
22	金	富浦町、幸町、千歳町、新栄町、札内の一部
25	月	登別町(国道より山側)
26	火	登別温泉町、カルルス町、中登別町、上登別町
27	水	柏木町、常盤町
28	木	若草町、新生町
29	金	幌別町

秋季大型ゴミ回収日程表

秋期登別クリーン作戦にご協力を

「クリーン登別」推進会議では秋期大型ゴミ回収日(10月12日~29日)に合わせて「清掃の日」とし、家庭内外の清掃を行います。
市内を快適な生活環境にするため、みなさんのご協力をお願いします。